

- ◆ みんなつく予算とは、令和2年度当初予算で初めて導入した県民参加型予算。
- ◆ 県民との協創で予算をつくりあげること、予算の使い道についての県民の理解、共感及び納得性を高めつつ、県政に参画していただく取組。
- ◆ 令和4年度当初予算編成に向けては、デジタル社会推進局と連携し、DXの観点を取り入れて実施。

令和2年度当初予算における取組

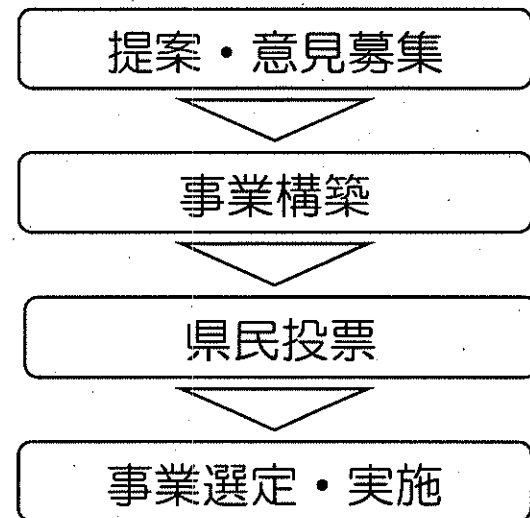
- 募集テーマ：20テーマ（避難行動の促進、食品ロスの削減等）
- 提案件数：229件
（県内182件、県外・海外47件。最年少18歳、最高齢81歳）
- 提案者と担当職員が協同で事業構築・プレゼンテーションを実施。
- 県民投票を経て、6事業（約5,000万円）を選定。
（総投票数6,505票、投票者数2,837人）

令和3年度当初予算における取組

- 募集テーマ：感染症防止対策と社会経済活動を両立しながら、三重を明るく未来へと導くアイデア
- 提案件数：320件
（県内250件、県外・海外70件。最年少18歳、最高齢82歳）
- オール三重で事業をつくりあげるため、事業化候補の提案等について、県民から意見募集（みんなつく討議）を実施し、意見を踏まえて事業構築。
- 県民投票を経て、13事業（約5,800万円）を選定。
（総投票数4,361票、投票者数1,790人）



<みんなつく予算の主な流れ>



「みんつく予算」×「あったかいDX」 ~令和4年度当初予算編成に向けて~

- ◆ 令和4年度当初予算編成に向けて、デジタル社会推進局と連携し、「あったかいDXを通じて暮らしやすい社会をつくるアイデア」をテーマに、県民を中心に、国内外から幅広く、アイデアや事業の提案募集を実施。
[募集期間: 令和3年6月24日(木)~8月31日(火)]
- ◆ 提案募集にあたっては、みえDXアイデアボックスを新たに活用しつつ、メールや郵送等で受付。

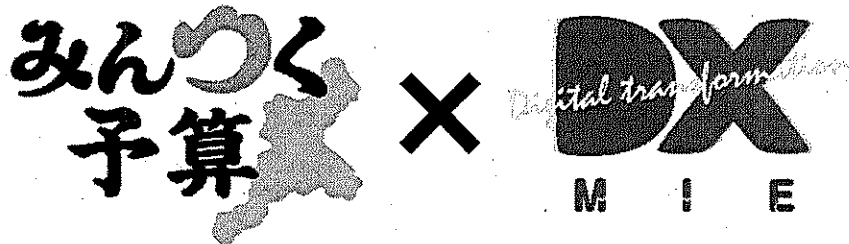
アイデア・事業の提案募集

○ 募集テーマ
「あったかいDXを通じて暮らしやすい社会をつくるアイデア」

○ 募集期間
令和3年6月24日(木)~8月31日(火)

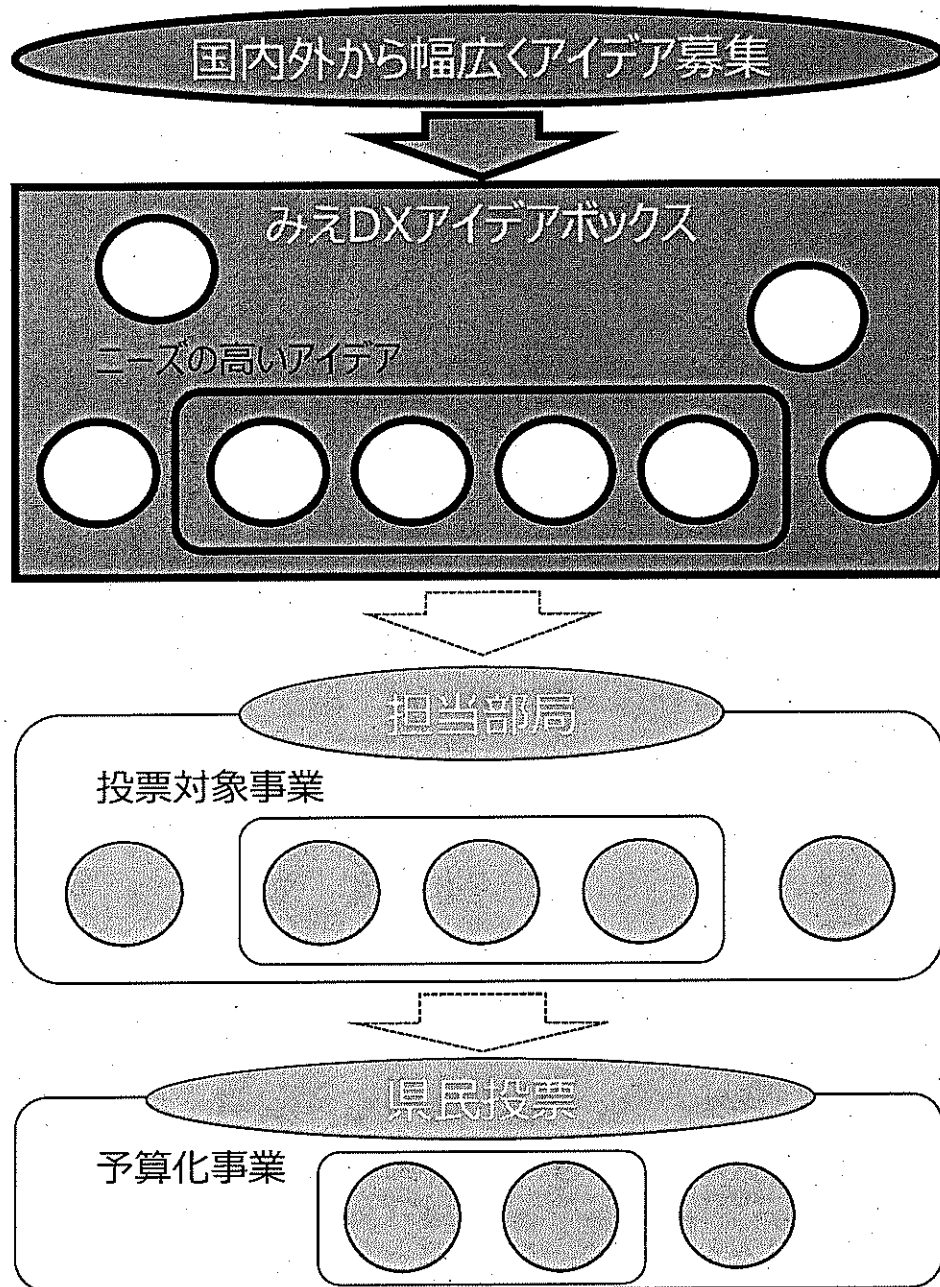
○ 応募資格
年齢・居住地を問わず、どなたでも応募可能
(ただし、三重県職員、三重県議会議員、法人、暴力団関係者を除く。)

○ 応募方法
みえDXアイデアボックス、メール、郵送等



あったかいDXを通じて暮らしやすい社会をつくるアイデア募集項目	
(1) 自由提案部門 あったかいDXを通じて、県民の皆さんが新しく何かにチャレンジできる時間が生まれ、あらゆる世代の皆さんの想いが実現する、暮らしやすい社会をつくるアイデアについて、自由に提案してください。	
(2) 個別課題部門 ~ デジタル技術を活用して、以下の個別課題を解決するアイデアを募集します ~	
1 若年層への防災活動参加促進 若年層が防災意識を持ち、率先して地域で開催される訓練等の防災活動に参加できるようなアイデアを募集します。	8 県産農畜水産物の消費喚起と販売促進 緊急事態宣言の発令等に伴う外食産業の営業自粛などにより、養殖魚や伊勢茶等の滞留や価格低下が生じているため、県産農畜水産物の消費喚起や販売促進につながるアイデアを募集します。
2 県内外の大学生等が 県内企業に就職することにつながる取組 若者の県外転出は進学・就職時に顕著であることから、就職時に県内企業を選択し、若者の県内定着を進めるために、県内外の大学生等が県内企業に就職してもらえるようなアイデアを募集します。	9 国際交流の推進 新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、海外とのリアルな往来が大きく制限され、国際交流の機会が大幅に減少しているなか、オンラインでリアルに劣らない交流を可能とする、誰でも手軽にできる国際交流を推進するアイデアを募集します。
3 適切な医療につながりやすくなる コミュニケーション方法 体調不良により自分の体調をうまく言葉で表現できない患者や外国人などコミュニケーションがうまく取れない方が、医療機関や保健所等とコミュニケーションを円滑に進め、適切な対応に結びつけるためのアイデアを募集します。	10 新しい観光コンテンツの創出 新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、三重県の観光産業が大きな打撃を受けているなか、観光需要や観光価値を高められるよう、新しい観光コンテンツの創出に向けたアイデアを募集します。
4 多文化共生に向けた外国人住民の 安全で安心な生活環境づくり 多文化共生社会の実現のため、行政からの情報が届きにくい外国人住民が安心して暮らせるよう、正確な情報をスピーディーに届けたり、地域の日本人と外国人住民とのコミュニケーションが円滑になるようなアイデアを募集します。	11 高齢者、障がい者、子育て中の方などを 応援するインフラ利用 高齢者、障がい者、子育て中の方など、県民が道路、河川、海岸、港湾、都市公園などの公共インフラを安心して利用できるためのアイデアを募集します。
5 脱炭素化への取組 世界共通の課題である脱炭素社会実現のために、家庭におけるライフスタイルインベーション等を通じ、県民の自発的な脱炭素に向けた行動の選択につながるアイデアを募集します。	12 ひきこもり当事者や家族への支援 ひきこもり当事者やその家族に必要な情報やサービスを届けるとともに、当事者が社会につながることでできる環境づくりのアイデアを募集します。
6 次世代モビリティを手軽に使えるための支援 AI記事システムによるデマンドタクシーなどの新しいシステムを円滑に利用いただくために、スマートフォンなどの操作がわからない高齢者の方などへの支援方法のアイデアを募集します。	13 不登校児童生徒の居場所づくり 不登校児童生徒が、適切な管理のもとで安全・安心に他者と交流し、自ら社会とつながりつくるきっかけを得て、さまざまな相談機関等を活用するなど、社会的に自立することにつながるアイデアを募集します。
7 「三重県南部地域で暮らそう! 働こう!」 暮らしやすい地域づくりや働く場の創出 生活サービスの維持、確保のための取組や、新しい働き方、働く環境の創出等、南部地域に住み続けたい、または南部地域で働きたいという思いがかなう地域の実現に向けたアイデアを募集します。	14 県民への幅広い防犯情報の提供方法 新型コロナウイルス感染症の拡大により、警察官の街頭における情報発信活動が制限されるなか、県民が安全に安心して生活できるよう、時代に合わせた新しい情報発信手法のアイデアを募集します。

「みんなつくり予算」におけるみえDXアイデアボックス活用のイメージ



- ① 県民を中心に、国内外から幅広く、「あったかいDXの実現」に向けて、アイデア・事業の提案募集を実施
(令和3年6月24日～8月31日)
※提案者それぞれにみえDXアイデアボックスのアカウントを作成・ログインしてもらい、アイデアの投稿を受付。
※合わせて、メール、郵送等での提出も可とする。
- ② アイデアボックスの投票機能等を活用し、ニーズの高いアイデアを調査・把握
- ③ 県民からの意見募集を行いつつ、その結果もふまえ、担当部局が提案者と連携して、県民ニーズの高いアイデアを事業化
- ④ 県民投票の実施、当初予算案の策定

みえグリーンボンド(仮称)の発行



- ◆本年4月、ESG投資に関心の高い新規投資家から新たな投資を呼び込みつつ、温室効果ガスの削減や気候変動への適応のための施策を着実に進めるため、令和3年度中の「みえグリーンボンド(仮称)」の発行を決定。
- ◆10年債として50億円の発行を念頭に、今後、主幹事や外部評価機関の選定、充当事業のフレームワークの策定を実施。

グリーンボンドとは

○企業や地方公共団体等が、国内外のグリーンプロジェクトに要する資金を調達するために発行する債券

〔主な特徴〕 ①調達資金の用途がグリーンプロジェクトに限定される

②調達資金の活用状況が確実に追跡管理される

③発行後に事業の実施状況や効果等についてレポーティングすることで透明性が確保される

グリーンボンドの基本的な発行スキーム

○温室効果ガスの削減や気候変動への適応に資する事業について、外部評価機関による客観的評価を得たうえで、投資家に向けたIR活動を実施。

○県の取組に賛同する投資家の資金を活用し、グリーンプロジェクトを実施。

○資金を充当したグリーンプロジェクトの事業効果等を投資家に報告。

